委員会報告

文教厚生委員会

【議案第49号について】

問 家庭的保育事業における保育料の額は

答 国が定める基準額を限度として市町村が定めることとなっています。同じ年齢、所得であれば、公立保育園の保育料と同額です。

※家庭的保育事業（保育ママ制度）とは、乳児又は幼児について、家庭的保育者の居宅その他の場所において、家庭的保育者による保育を行う事業です。

【議案第55号について】

問 介護保険の補正額が9,800万円余の増額だが、今後も増減はあるのか

答 今回の補正は25年度分の精算に伴う増額補正です。今後、補正案件があれば、12月あるいは2月に増減の補正をお願いする可能性もあります。

【議案第58号について】

問 水道事業の建設改良工事の進捗状況は

答 26年度の排水管布設替工事予定は14路線、そのうち発注済が6路線、執行率は約7割です。

【認定第2号について】

問 国民健康保険加入者の生活習慣病を重症化させないための指導方法は

答 特定検診の受診率のデータを基に予備軍の方には動機付け支援、数値が悪い方には積極的支援を、半年間かけて生活習慣改善の指導をしています。

問 特定検診の受診率は

答 受診率は46・2パーセントです。県下35市町中6番目、県平均は33・3パーセントです。

問 受診率向上の理由は

答 健康出前講座での特定検診への受診勧奨や未受診者への電話勧奨を行っています。

【認定第5号について】

問 集落排水の汚泥は、今も農家に肥料として提供しているのか

答 汚泥はすべて東遠広域施設組合に搬出し、処理をしています。その中から肥料として農家に分けているものもあります。

【認定第9号について】

問 市立病院等における非常勤職員の人数は

答 病院・総合保健福祉センターの両施設で103名です。内訳は、医師46名、技師1名、看護師28名、事務12名、介護員など16名です。

一般会計予算決算審査特別委員会

平成26年9月16・17・18日の3日間にわたり、付託された2議案について審議をしました。委員間討議の結果、左記のような意見が出されました。

1 平成26年度御前崎市一般会計予算の補正（第3号）について

【防災課】

防犯灯設置補助金については、毎年補正を行っている。当初予算で防犯灯予定設置数などを十分精査し計上するよう求める。

【都市建設課】

避難路や橋梁耐震化は、PAZや防災の観点から補助事業のみならず、市費を投入してでも、早急に整備を進めるよう求める。

【教育総務課】

白羽小学校のプールの設計委託費が計上されているが、本来なら当初予算で計上すべきものである。学校施設整備は、安全などの視点からも積極的展開を行うよう求める。

白羽小学校プール

2 平成25年度御前崎市一般会計歳入歳出決算の認定について

【秘書政策課】

全国的に人口減少問題が重要な課題となってきている。定住促進奨励金交付事業など活用しやすくし、人口減少対策を講じるよう求める。

【商工観光課】

観光物産会館の設置目的に沿い、地元の特色を生かした有効活用を求める。

【都市建設課】

生活環境整備事業は、地元要望対策の目的に沿った積極的な予算執行を求める。

【管理課】

市公設の公園へ防犯対策を講じるよう求める。

【国保健康課】

浜岡健康センターの目的に沿った運営ができるよう、建替などの検討を求める。

【高齢者支援課】

時代のニーズに沿った、浜岡福祉会館の建替などの検討を求める。

【学校教育課】

全国学力テストの結果公表については、全国で議論を呼んでいるが、議会に対しては、テスト結果内容の説明をするよう求める。

【教育総務課】

・給食費滞納について3月に提出した意見書にて是正を求めているが、改善が見られない。訴訟も辞さない事務執行を求める。

・小中学校のトイレについては、生活環境の変化などに対応した、速やかな改善を求める。

【給食センター】

社会環境への対応と費用対効果向上のため、給食センター統合に向けた検討を行うよう求める。

【社会教育課】

・丸尾記念館に付帯する茶室建設については、要望書に沿って速やかな対応を求める。

・公民館活動支援補助金は、活動費の3分の1は各公民館負担とし交付されている。地区の拠点である公民館活動が円滑かつ活発に実施できるよう、補助金の総額を増額するなど公民館負担が無くなるよう求める。

観光物産会館（なぶら館）

浜岡福祉会館

総合開発計画策定特別委員会

平成26年9月19日に委員会を開催し、第2次御前崎市総合計画策定方針に係る執行部案が示されました。計画案は次のとおりです。

1 第2次総合計画とは

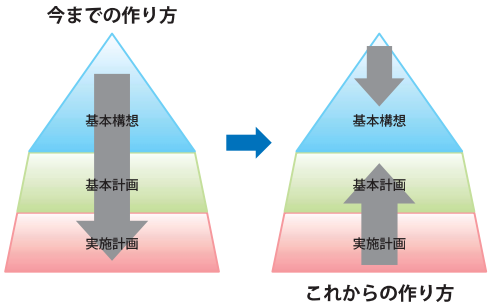
平成28年4月1日から平成38年3月31日までの、今後の10年間を見据えた計画です。

2 どんな総合計画が必要か

誰もが未来を想像でき、誰もが目標に向かって歩み、御前崎市を維持できる将来計画であり、御前崎市人口維持計画であること。

3 これからの計画の作り方

実施計画から策定することにより、現実的な目標の設定が可能です。



総合計画策定における執行部案

これらの報告を受け、委員会では次のような意見が出されました。

・計画案はあくまでも執行部案であり、総合計画については、今後、定例会ごとに委員会を開催し、進捗状況を示すこと。

・財政計画を示し、それに基づき総合計画に着手すること。

・人口維持の施策については秘書政策課で取り組むこと。

・市議会議員は審議する立場であることから、総合計画の審議会委員の構成委員としないこと。